

パルシステム生産者・消費者協議会

2016年度 青年農業者交流会 開催報告

生消協事務局

- ・2016年11月10日～11日に茨城県つくば市（オークラフロンティアホテルつくば）にて青年農業者交流会を開催しました。
- ・24産地69名の生産者と大津代表幹事、梅原副代表幹事、消費者幹事7名、谷ロアドバイザー、ジーピーエス・工藤本部長、パルシステム連合会・島田産直部長、職員2名、事務局2名の合計85名が参加しました（過去最高数）。
- ・今回は、遺伝子組み換えについて学ぶことをテーマとし、1日目は遺伝子組み換えについてのドキュメンタリー映像視聴、河田昌東氏による講演（「遺伝子組み換え作物の今ー基本的な問題点を置き去りの危険な開発競争ー」）、参加者意見交換、谷ロアドバイザーによる講演総括を行いました。2日目はつくば市内の農研機構にて、食と農の科学館見学、植物工場つくば実証拠点視察、遺伝資源センター ジーンバンク種子保管庫視察等を行い、まとめを行いました。
- ・参加者の意見交換では、「遺伝子組み換え作物が日本国内の港付近に自生していることは聞いていたが、遺伝子組み換え作物と、農家の栽培する作物の交配の危険性は考えたことがなかった。」、「今後は天候・災害・出荷（物流）対策と同様に遺伝子組み換え対策（リスク）も検討しなければならない。」、「テレビで見て遠い世界の話と思ったが、身近な問題であることがわかり、危機感を感じた。」という意見が出されました。
- ・次年度の青年農業者交流会は2日目が会員生協での交流となる開催形式を予定しています。



・会場の様子



・意見交換の様子



・ 集合写真



・ 懇親会での生消協参加者紹介



・ 植物工場視察



・ ジーンバンク視察



・ 世界中の種子保管庫



・ 大津代表によるまとめ

以上